

# セルフモニタリング報告書(令和4年度分)

令和5年4月26日

施設名 苦小牧市保健センター及び苦小牧市夜間・休日急病センター  
 指定管理者名 一般財団法人ハスカッププラザ  
 所管課名 健康支援課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画書に伴い管理運営を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナ禍に伴い、健康教室、栄養教室等の利用を中止している為、web配信等を利用し開催している。	Ⓐ・B・C・D・E
<del>施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。</del>	<del></del>	<del>A・B・C・D・E</del>
<del>自主事業は計画どおり行われたか。</del>	<del></del>	<del>A・B・C・D・E</del>
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市内イベント及び当施設における集団行事等を見合わせている。しかし健診関係機関と連携・協力をしながら運営を実施している。また、近隣施設で開催されるイベント等の臨時駐車場貸出依頼等については、出来る限り協力し、地域の繋がりを強めるよう努力している。	Ⓐ・B・C・D・E
<b>2. 利用者の満足度</b>		
利用者の満足が得られているか。	利用者満足度の向上に向け都度対応及び協議し改善に取り組んでいる。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者アンケートを実施することで利用者の意見・要望または情報につ	Ⓐ・B・C・D・E

	いては、部署同士連携を取り合い把握するようにしている。	
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	建物や設備の変更は厳しい場合もあるが、健診実施時の改善・改良については各部署対応はしている。	Ⓐ・B・C・D・E
<b>3 管理運営の効率性</b>		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	最大電力消費量を削減する機器（デマンド）を設置し電力消費料をコントロールし消費電力を抑えることに努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業務に関しては、選定時に見積合わせ等を行い、経費が最小となるように努めている	A・Ⓑ・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	健診者数等の増加を図るために、各企業に営業等を実施すると共に、新しい検査を取り入れ、健診者の選択肢を増やす事により利用者増加、収入増加に努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
<b>4 適正な管理運営</b>		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	アウトソーシング等を積極的に利用し、無駄のない配置に努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	新型コロナウイルス感染症の影響で、学会・研修会等の参加は控えているが、内部で実施可能なスキルアップに向けた取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。		A・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われたか。	職員IDのログ管理等を実施し、電子錠の付いた保管室及び保管庫を設け	Ⓐ・B・C・D・E

	漏洩に注意し管理している	
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	税理士と業務契約を行い、適正処理を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	各種点検業者により都度点検済み	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品保管庫及び書庫等に保管し対応している	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	今年度はコロナ対策に重点を置き、感染対策の強化について検討をした。 また、リスクマネジメント委員会を定期的に開催し、ヒヤリハット、インシデント等について話し合い対策を考えている	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定書等を作成し管理している	Ⓐ・B・C・D・E
<b>5 地域貢献</b>		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者等を利用して地域貢献に努めている	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

## 指定管理者の自己評価(全体を通して)

- ・令和4年度については、前年度同様に新型コロナウイルスへの感染予防策を鑑みながら運営することを目標とした。
- ・健康診断事業については、コロナ禍での影響で受診者数を微増で計画してたが、結果的に施設内・施設外健診も順調に推移し、法定健診等は対前年度約 1,500 名の増、特殊健診については対前年度約 1,700 名の増加となった。
- ・健康づくり事業については、特定保健指導においては受診者による指導拒否や中途離脱が多く見られたことから今後の対策が求められる。
- ・オンライン中心で行っていた運動・栄養教室は人数制限等の調整をして来所スタイルと並行しながら実施したことにより、利用者数については回復出来たと思われる。
- ・健康講話等については各企業より問い合わせ等が増加してきていることから、受入体制等整備を実施する予定
- ・夜間休日診療事業については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い受診者が大幅に減少傾向となりましたが、感染が減少傾向となってきた、今年度末の時点では前年度に対し復調傾向になっております。
- ・PCR 検査センター継続設置し、市内医療機関と連携し発熱患者を受け入れ、新型コロナウイルス発見に努めた。
- ・少ないメディカルスタッフで、急病センター及び新型コロナウイルス・インフルエンザへの対応については評価に値すると思われる。
- ・施設内に新たな電力容量確認計器（デマンド）を設置し、自動的に動力の入力を控え、基準電力を超過しないよう一括管理している。
- ・施設内の事務所及び検診者が利用しない場所については午前午後に関わらず消灯を実施して節電等、経費削減に積極的に取り組んでいる。
- ・新規オプション検査を実施することにより、収益の増加や検診項目を充実させると共に更なる利用者増加を目的とし運営を行っている。
- ・公認会計事務所と顧問契約を行い、運営面での安定的な資金運用に努めている。